

新年度の主要施策

★新規事業(一部新規を含む) ◆拡充事業
○継続事業

『個別施策① 人口減少対策』

少子高齢化・人口減少社会にあっても、賑いのある地域社会の形成を目指し、転出超過の抑制を図るため、様々な取り組みを複合的に展開していきます。

養老町まちづくりビジョンの全ての大綱に関わる施策となります。

★YOROSUPPORTER WORLD (ヨーロー サポーター ワールド)事業(5, 235千円)

令和5年1月に養老町の公式ファンクラブである

YOROSUPPORTER WORLDを設立し、町内外を問わず多くの皆さまにご登録いただいています。今後は町内事業者との協力体制を構築し、町の観光情報やイベント情報を専用LINEアカウントなどにより効果的に発信し、さらなる

SUPPORTERの獲得に取り組みます。



◆東京圏からの移住支援事業(2, 000千円)

東京圏から町内に移住し登録企業に就職した人などを対象に、国・県と連携し補助金を交付します。令和5年度より、18歳未満の子ども1人につき100万円を加算し、本町への定住を促進します。

○自治町民会議設立事業(18, 331千円)

協働のまちづくり推進のための中核をなす組織である地域自治町民会議の設立を推進します。令和4年度は、新たに日吉地区で設立されました。引き続き、地域活性化に繋がる事業として支援していきます。

★電算及び文書印刷管理費(97, 768千円)

デジタルデバインド対策として、スマートフォンに不慣れな人を対象に、地域の公民館などで初心者向けのスマートフォン使い方講習会を実施し、情報格差の解消を図ります。

○小学校特色ある学校教育推進事業(3, 598千円)

学校教育では、コミュニティスクールの充実を図るとともに、養老の人や自然、文化とのふれあいをより一層推進し、ふるさと養老への誇りと愛着を育むことができるよう、引き続き「養老町教育・文化フォーラム」を開催します。

★小学校給食管理事務(41, 315千円)および中学校給食管理事務(18, 674千円)

保護者の経済的負担を軽減するた

め、学校給食費の段階的な公費負担を実施するとともに、物価高騰の中でも充実したおいしい給食を維持し、子どもたちの笑顔のため、給食デザート補助を継続します。



★休日の部活動地域移行推進事業(3, 408千円)

中学校の部活動について、生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができるよう地域連携部活動を推進していきます。地域連携部活動に必要な休日部活動指導者の確保にあたっては、スポーツ少年団をはじめ各種団体や保護者の協力を得ながら、円滑な移行に取り組みます。

★私立保育園等整備事業(118, 509千円)

私立園の受入定員の増加による子育て環境の充実を図るため、私立ようろう保育園の新園舎整備に対し、国の補助金を活用し、費用の一部を補助します。

★子ども家庭総合支援拠点事業(9, 429千円)

業務の効率化と情報の集約化により、相談業務や家庭訪問を充実させるため、児童相談システムを導入します。

◆婚活支援事業(4, 831千円)

補助要件を緩和し、夫婦の所得が500万円未満の場合には結婚新生活に係る費用に対し、補助金を交付します。

★公立認定こども園等関係事務事業(22, 984千円)および私立保育所等運営費補助金(5, 181千円)および子ども子育て支援事業(保育対策総合支援事業)(3, 560千円)

使用済みおむつの処分を実施し、保育士業務の効率化とともに、保護者の負担軽減を図ります。私立園でも同様の対応ができるよう処分費用に対する助成を行います。

★私立保育所等運営費補助金(5, 181千円)

乳幼児の随時入園の体制を充実させるため、保育所などに配置基準以上に保育士を配置する私立園に対して補助金を交付します。

